



司法書士制度140周年記念事業公演

東京司法書士会劇団



第15回公演 at 品川

認知症高齢者の理解を深めるために!

ボケてても、好きな人

入場
無料



2012年10月24日(水)

開場 午後5時30分～ 開演 午後6時30分(約90分)

品川区立総合区民会館

きゅりあん大ホール (入場無料)

アクセス JR 京浜東北線・東急大井町線・りんかい線……大井町駅 徒歩約1分

※駐車場は商業施設との共用のため、なるべく電車・バスをご利用ください。



各種メディアで話題の司法書士劇団があなたの街へやってきます!
成年後見、借金問題、悪徳商法等、一見難しい法律のお話しを演劇を通して分かりやすく、かつ楽しく皆様へお伝えいたします。

公演に関するお問い合わせはこちら ●東京司法書士会 TEL.03-3353-9191

●劇団リーガル☆スター公演

主催：東京司法書士会品川支部

後援：品川区、(福)品川区社会福祉協議会、(公社)成年後見センター・リーガルサポート東京支部

●司法書士制度140周年記念事業

主催：東京司法書士会

後援：東京法務局、東京都、(福)東京都社会福祉協議会、日本司法支援センター東京地方事務所(法テラス東京)、東京都民生児童委員連合会、新宿区、(福)新宿区社会福祉協議会、日本司法書士会連合会

ボケてても、好きな人



あらすじ

その日、四谷家は混乱していた。龍之介(75歳)の四十九日の法要がとり行われようとしていたその日、下界にとどまっていられる最後の日だけに、気になって様子を見に来た龍之介の魂であったが、彼が目にしたのは、そろいも揃って内心は四十九日どころではない自分の子供や孫達の姿だった。長男の正彦はあまり人に言えないような事に夢中で、長女の敏恵は別れた夫との間で養育費について揉めており、孫の健太と真樹もそれぞれ悩みを抱えていた。その上、妻の綾乃(68歳)がボケてしまったらしい。仕事を通じて司法書士と友人になったという次男から成年後見制度のあらましを聞いた長男と長女は、司法書士がどういことをする

人間なのかもよく知らないまま、この場に呼び寄せることを思いつく。ついでに自分の悩みにも相談に乗ってもらえるのではないかという期待があつての事である。

もともと、出席者はそれぞれ問題を抱えているとはいえ、龍之介の50年来の親友である住吉ひとりを除けば全員が身内であることに加え、住職も幼い頃からの顔なじみであるため、法要そのものは滞りなく終わるはずだった。ところが、そこへ招かざる客が現れ、さらには…。

果たして、お約束どおり都合よくやって来た司法書士の荒木は、四谷家の混乱にどう対処するのか。

登場人物・キャスト紹介

- | | | |
|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| ●四谷 龍之介役
司法書士 野中 政志(渋谷支部) | ●四谷 直次郎役
司法書士 成田 尚志(豊島支部) | ●山吹 一平役
司法書士 山田 修司(江戸川支部) |
| ●四谷 綾乃役
司法書士 檜山 雪子(台東支部) | ●四谷 健太役
司法書士 菊地 孝宏(豊島支部) | ●内藤 若葉役
司法書士 大屋 麻由(千代田支部) |
| ●四谷 正彦役
司法書士 安藤 剛史(文京支部) | ●四谷 真樹役
司法書士 河西 麻子(田無支部) | ●取り立て屋1役
司法書士 力丸 寛(新宿支部) |
| ●四谷 文子役
司法書士 江口 美枝(杉並支部) | ●荒木 達也役
司法書士 佐藤 修(港支部) | ●取り立て屋2役
司法書士 辻井 宏(大田支部) |
| ●四谷 敏恵役
司法書士 加藤 裕子(大田支部) | ●住吉 幸三役
司法書士 山口 栄三郎(品川支部) | ●河田 実役
司法書士 渡辺 光章(八王子支部) |

スタッフ紹介

- | | |
|----------|----------------------|
| ●脚本 | 川上 徹也 |
| ●演出 | 西口 典子(有限会社花鳥風月) |
| ●プロデューサー | 司法書士 立本 宗一(東京司法書士会) |
| ●演出助手 | 柏木 陽(NPO法人演劇百貨店代表) |
| ●舞台監督 | 掛樋 亮太 |
| ●美術レンタル | 高津装飾美術株式会社 |
| ●舞台美術 | 村上 亜紀子 |
| ●照明 | 鈴木 みづほ |
| ●音響 | 青木タクヘイ(株式会社ステージオフィス) |
| ●衣装 | 東京衣裳株式会社 |
| ●大道具 | 有限会社オサフネ製作所 |

